

予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：商工業 項：商工業 目：工鉱業振興費

事業名 (公財) セラミックパーク美濃運営負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号:058-272-1111(内 3094)

E-mail: c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 9,619 千円 (現計予算額 : 17,864 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	17,864	0	0	2,062	1,888	0	0	0	13,914
補 正 要求額	9,619	0	0	0	0	0	0	0	9,619
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

陶磁器産業は東美濃地域の重要な地場産業であるが、ライフスタイルの変化による国内市場の縮小や海外廉価製品との価格競争の激化などにより苦戦を強いられている。

こうした中、拠点施設としてのセラミックパークMINOの役割は重要であるが、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により、当該施設も貸館業務が停止を余儀なくされるなど、大きな影響を受けている。

(2) 事業内容

美濃焼産業の振興、陶磁器文化の振興を目的に平成14年にオープンした拠点施設「セラミックパークMINO」の維持管理・運営を推進するため、同施設の指定管理者である(公財)セラミックパーク美濃に対し、維持管理・運営経費及び自主企画事業経費の一部を負担金として拠出しているが、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、運営費負担金を見直し、指定管理者が業務を遂行するうえで、経営努力では賄いきれない不足額を追加負担する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設の施設管理及び運営を指定管理者が行っているため、新型コロナウイルス感染症による影響分としての不足額を県が負担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内容

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	9,619	運営負担金
合計	9,619	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略2017」

[3] 海外展開・販路拡大支援プロジェクト

(2) 国内におけるビジネスチャンスの提供

(2) 後年度の財政負担

無

(3) 事業主体及びその妥当性

美濃焼産業の中心地である東濃西部3市（多治見市、土岐市、瑞浪市）が中心となり当該事業をけん引しているが、美濃焼産業の振興は県の重要な施策であり、県が事業主体となることは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

陶磁器産業と文化の融合施設であるセラミックパークMINOを活用し、美濃焼はもとより、美濃焼産地の魅力を国内外へ発信し、岐阜県の産業、文化振興を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
来館者数 (単位：人)	(H)	223,993 (H28)	250,259 (H29)	249,991 (H30)	290,000 (R2)	86.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

(1) 施設の維持管理

設備の保守管理、施設修繕の実施、職員巡視による安全確認の実施、警備の実施、敷地内里山も含む施設の清掃業務の実施、危機管理体制の整備、各種環境衛生管理関係法令の遵守など、24時間365日に渡り施設の安全及び維持管理を適切に実施してきた。

(2) 施設の運営・催事誘致活動

貸出施設への催事誘致営業、来館者アンケートの実施、地元陶磁器業界との交流、現代陶芸美術館やレストランとの連携、作陶館の運営、ショップ及びギャラリーの運営、周辺里山での自然観察会の実施など、魅力と活気に溢れる施設づくりに努めた。

(3) 自主企画事業

地元産業振興、文化振興、観光振興、地域振興を目的とし、以下の自主企画事業を実施しその達成に努めた。

①『美濃焼インキュベーション事業』【産業振興事業】

美濃焼の市場開拓と新商品開発を目的に、国内外のレクサス販売店舗を中心に展開される、レクサスのこだわりアイテムを揃えた「レクサスコレクション」に掲載する作家の提案を行った。

②『陶芸作家展』【文化振興事業】

美濃を拠点に活動する陶芸作家の作品の展示販売を行った。

③『セラパーク楽々市』【地域振興事業】

多くの地元商店や住民の出店とともに、多くの来場者があった。

④『青空マルシェ』【地域振興事業】

セラパークの賑わいづくりを目的とし、地元住民の集客に努めた。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

- 適切に施設の維持管理、運営・催事誘致活動を行い、来場者増を図った。
- 来館者数は前年同程度で推移した。
- 貸館稼働率については、景気低迷の影響で経済界の動きが鈍くなっているものの、リピーターの確保や新規誘致の努力を続け、稼働率を維持している。
- 今後は継続的にアイデアを募り、さらなる利用促進をはかっていく。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）
 ○：必要性が高い △：必要性が低い

(評価)

○

セラミックパークMINOは、平成18年度より指定管理者制度を導入しており、現在、公益財団法人セラミックパーク美濃を平成32年度末まで指定管理者として指定している。施設の維持管理及び自主企画事業を実施するためには、指定管理者へ負担金を拠出する必要がある。

- ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）
 ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている
 △：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

- ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）
 ○：効率化は図られている △：向上の余地がある

(評価)

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

陶磁器産業は、日本人のライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入、長引く不況による消費力の減退など極めて厳しい状況下にあるため、陶磁器文化・産業振興の拠点であるセラミックパークMINOの魅力をより一層高めていく必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

セラミックパークMINOは、本県の地場産業であり、東濃3市（多治見市、土岐市、瑞浪市）の基幹産業でもある「美濃焼」をテーマに、産業振興及び文化振興の拠点として重要な役割を果たしてきていることから、今後も地元3市と連携し、施設を効果的に維持管理していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課

組み合わせて実施する理由や期待する効果 など

--	--